

# 平成30年度 名二環飛島大橋左岸東床版工事」

## 施工者が、現場と現場事務所・店社をカメラ映像でつなぐことで 情報共有を図った事例

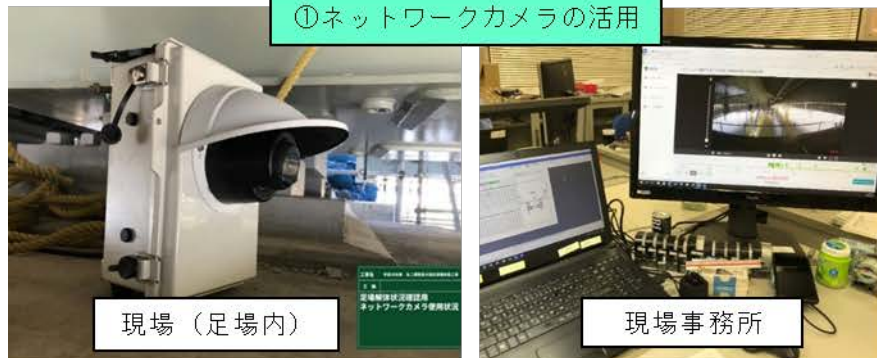
### <試行工事概要>

|               |                         |
|---------------|-------------------------|
| 工期            | 2018年11月16日～2019年11月29日 |
| 試行期間          | 2019年6月4日～2019年11月20日   |
| 工事内容<br>(主工種) | 床版工（プレキャスト・場所打ち）        |
|               | 橋梁付属物工                  |
|               | 仮設工                     |
| 事務所           | 愛知国道事務所                 |
| 受注者           | 株式会社IHIインフラ建設           |

### <試行内容・箇所（工種）>

| カメラ種別       | 箇所（工種）             | 目 的                                                                                |
|-------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| ① ネットワークカメラ | 吊足場組立・解体<br>作業状況全般 | 足場の組立・解体時の現場状況をリアルタイムに事務所で容易に確認できるほか、その作業状況を動画にて記録に残すことができる。                       |
| ② ウェアラブルカメラ |                    | 作業のポイントとなる詳細箇所を見える化させ、現場と店社のコミュニケーションツールとして使用でき、作業手順の立案・確認を具体化できるため、安全管理体制の強化が図れる。 |

#### ① ネットワークカメラの活用



#### ② ウェアラブルカメラの活用



#### （良かった点）

- ・現場⇄事務所での作業全体の状況把握が容易にできる。
- ・作業状況をエビデンスとして記録できる。
- ・画像を使った安全教育で作業員の周知度向上が図れる。
- ・店社との画像共有で安全管理体制強化が図れる。

#### （悪かった点）

- ・電波の悪い箇所での利用が困難なケースがある。
- ・精密機械のため雨天時等の取り扱いが煩雑である。